

小泉八雲を魅了した水の都松江

～『やすらぎ』をモットーにした宿～

松江市 野津旅館 野津 洋三

初代は隠岐の島の宿泊客を

明治三十九年創業のわが宿は、隠岐の島出身の初代が隠岐の島からの宿泊客の御用を賜るべく、隠岐汽船の船着場に宿を開設致しました。

その後船の大型化と共に船着場も変わり現在地には昭和十一年に移転致しました。そして現在は水の都・松江を流れる大橋川に面し、市街の中心地ではございますが、展望風呂も兼ね備えた情緒溢れるお宿でございます。



『やすらぎ』をモットーに

当館では、『やすらぎ』をモットーに『ほっ』として頂けるお宿を目指しております。

お客様お一人お一人を出雲大社の『ご縁』と思い、お寛ぎ頂けるようお手伝いさせて頂いております。出雲大社では下記の期間に特別拝観を行っております。

○期 間 平成22年8月12日(木)～8月16日(月)・8月21日(土)
・8月22日(日)・8月28日(土)・8月29日(日)・9月5日(日)・
9月11日(土)・9月12日(日)・9月16日(木)～9月21日(火)
合計18日間

○時 間 午前9時～午後4時30分迄

○拝 観 料 無料(但し、事前申込みもしくは当日整理券が必要)

詳しくは、出雲大社ホームページをご確認ください。



小泉八雲を魅了した松江

水の都「松江」は、西は宍道湖、東は中海に面し、市内にめぐらされた堀川、縦横に走る河川に囲まれています。年間 860 万人の観光客が訪れる、風光明媚な自然と歴史的な街並みが美しい国際文化観光都市です。

この街の魅力は、風光の美しさだけでなく、その底に静寂、清浄、そして古雅なさび、そんな風情が漂う街です。それらは、この地方が古代以来の長くて深い歴史によって作り出されたものにほかありません。

松江の南郊一帯は、古代出雲文化の中心地。ここには古墳や古社寺など貴重な遺跡が集中しています。近年、神話の世界を再現するかのような発見が相次ぎ、まさに古代出雲のロマンを肌で感じることができます。良縁を授けてくれるというスピリチュアルなパワースポットに若い人の人気が高まっています。

現在の街のかたちは、関が原の戦いに活躍した堀尾吉晴が、今から 400 年前、松江城と城下町を完成させたことに始まります。その後、松平氏 10 代の治世が続きましたが、7 代藩主治郷（不昧）は、藩政の改革のかたわら、茶道の心を松江の人々に伝え、現在まで松江には、和菓子など不昧公好みの文化が色濃く残っています。

日本の文化を、著書を通じて広く世界に紹介した小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）は、松江を「神々の国の首都」とよんで深く愛し、大きな感化を受けたことでも知られ、松江で書いた文章を、後に『知られぬ日本の面影』にまとめています。

文豪・小泉八雲も魅了した風景を見て、日本文化の原風景が見出せるかもしれません。





島根県 松江市

野津旅館

〒690-0006

島根県松江市伊勢宮町5 5 5

Tel : 0852-21-1525